

編集後記

ここに『都市文化研究』第11号をお届けいたします。本誌は文学研究科21世紀COE事業の一環として発刊され、それより刊行を続けて参りましたが、事業の完了に伴って、昨年度（第10号）は掲載内容や本文レイアウトについて若干の見直しを行い、新たなスタートを切りました。今号は新体制での第2号ということになります。

今号では、「論文」4編、「研究ノート」1編、「研究展望」2編、「特別寄稿」1編、「書評」2編、及び「海外レポート」1編を掲載することになりました。都市文化研究という分野の広がりやを反映し、既成の研究分野で言えば、歴史学、社会学、教育学、文学等に分類されるような、あるいはそれらを横断するような、幅広い内容の論考が集まっております。様々なご専門の方々からご批評、ご助言を頂戴することが、本誌を更に充実したものにしていく上で不可欠のことと存じますので、読者の皆様におかれましては、どうぞ忌憚のないご意見をお寄せ下さいますようお願いいたします。

なお表紙の写真はルクセンブルクの街角の風景を切り取ったもので、「我々はいまあるままでありたい」とルクセンブルク語で書かれています。本号収録論文と関連する写真を提供して下さった木戸紗織さんに感謝いたします。

今後とも『都市文化研究』にご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（平田茂樹・編集委員長／海老根剛・第11号編集主任／久堀裕朗・第11号編集主任）

編集委員

平田 茂樹・編集委員長（大阪市立大学大学院文学研究科准教授、UCRC 常任研究員、東洋史学）

海老根 剛・第11号編集主任（大阪市立大学大学院文学研究科准教授、表現文化学）

久堀 裕朗・第11号編集主任（大阪市立大学大学院文学研究科准教授、UCRC 常任研究員、国語国文学）

池上 知子（大阪市立大学大学院文学研究科教授、心理学）

多和田 裕司（大阪市立大学大学院文学研究科教授、UCRC 常任研究員、アジア都市文化学）

仲原 孝（大阪市立大学大学院文学研究科教授、哲学）

仁木 宏（大阪市立大学大学院文学研究科准教授、UCRC 常任研究員、日本史学）